

2023年9月25日

令和5年度9月 学位記授与式学長告辞

九州工業大学長 三谷康範

本日、ここに令和5年度の学位記授与式を挙行できますことは、九州工業大学にとりまして大きな喜びであります。栄えある門出を迎えられました皆さんに、まずもってお祝い申し上げます。また、この日まで修了生を物心両面から支えてこられました保護者、御家族の皆様のお喜びはひとしおと拝察し、衷心よりお祝い申し上げます。

今年度に入って、漸く長いコロナ禍のトンネルを抜け出し、国内の活動はもちろんのこと国際的な交流も活発化してきました。この過程においては、コロナ禍前の姿を取り戻すというよりもむしろコロナ禍の経験に基づいて新しい生活様式が始まろうとしています。その一方で、ご承知のように、国際間の対立はますます激しくなり、現実の世界で繰り広げられる戦禍を前にして我々人類はかつて何度も見た光景と同じ過ちを繰り返そうとしています。

現代の科学技術の進展は、自由で開かれた環境における様々な知性と個性を持った人々の出会いと交流を通じてイノベーションが起こされてきたことによるものだと思います。世界の分断によって知の交流の機会が失われるとすれば、その損失は計り知れないものがあります。ここで大切になってくるのが日常的な人と人あるいは組織と組織の間のグローバルな交流です。このような状況で本日学位記授与式を迎えられました皆さんの社会における役割は極めて重要です。本学において、多くの国・地域から人々が集まり、日々の生活を共に過ごし、時に悩み、時に助け合いながら今日の日があるのではないかと思います。その間、一人一人が多くの人的ネットワークを築かれたことかと思えます。これからそれぞれの道を歩み始めますが、これからも強い絆で築いたネットワークを今まで以上に強めていってください。物理的に離れていても遠隔で繋がり、直接対面で会えば握手やハグをして交流を深め、武器ではなく熱い議論をもって戦う関係を私たちアカデミアは作り出すことができるのです。

分断によって自分と異なるものを排除しようという考えに支配されると、正しい判断と方向性を見定める機会を失ってしまいます。本日の学位記授与式を迎えられた皆さんは本学で師と出会い、友を得て、多くの国・地域の研究者との

交流によってここまで到達できたものと思います。皆さん自身が知識、スキル、経験、探究心、好奇心、人的ネットワークを通して本学で得たものは決して AI では獲得し得ないものと確信しております。新型コロナウイルスとの共存と並行して世界の紛争も継続しており、残念ながら、これらの終息の目処は付いていませんが、このような状況だからこそ、健康の大切さ、人の命の尊さ、分断ではなく協力し合うことの大切さなど改めて考えてみましょう。ウイルスの変異にも増して人間の知恵は経験に基づいて絶えず進化できます。AI が苦手な分野である好奇心を持って知識を活かす知恵が求められているのだと思います。

いま、本学では多様性の創造を重要なキーワードに掲げています。多様性は融合のイノベーションを引き起こすために不可欠な要素です。仮の話として、私たちが限られた地域の学校を卒業した男子学生だけで研究活動を行っている状況を想像してみてください。その研究の成果物にはその地域の男性の視点が色濃く出てそれ以上の発想を生み出す機会は限られます。ここに異なるジェンダーが加わり、県外、海外、企業などの人々が加わっていくにつれて、限られた集団では発想し得なかったことが生まれる確率が飛躍的に高まるのが容易に想像できます。すなわち、多様性の高さはイノベーション創出の機会の多さと強い相関を持ちます。皆さんは本学でたくさんの良き友を得たと思います。本学で展開された全ての出会いがこれからの皆さんの将来を豊かにしてくれることを確信しています。また、そこから新しいネットワークが広がってそのことが将来本学にも好影響を与えることにも繋がります。

最後になりますが、皆さんが、本学における多くの良き出会いを財産として、今後の人生を楽しみ、活躍されますことを祈念し、皆さんの栄えある門出を心から祝福申し上げ、告辞と致します。本日は、誠におめでとうございます。